旭川乳児院に絵本寄贈

山陽女子高ボランティア部

「みんなで笑顔になって」

山陽女子高校（岡山市中区門田屋敷）のボランティア部「ＪＲＣ（青少年赤十字）」の生徒が25日、古紙回収の収益で購入した絵本を旭川乳児院（北区祇園）に寄贈した。

部員18人を代表して２年生５人が訪問。絵本11冊とともに、二つ折りの紙を開くと動物やアニメキャラクターの絵が飛び出す手作りのポップアップカード、同高３年生が作った布おむつを坪井久美子院長に渡した。坪井院長は「子どもたちが喜ぶ」とお礼を述べた。

部員は２０１４年５月から15年３月にかけ、同高と山陽女子中で雑誌や新聞、古本の回収を呼び掛けるちらしを配り、約５㌧の古紙を集めた。古紙回収による寄贈活動は今回が初めて。

坂辺伽奈部長(16)は「みんなで一緒に楽しめるようにと絵本の寄贈を考えついた。一人でも多くの子どもが笑顔になってほしい」と話していた。（黒瀬耕平）



坪井院長（左）に絵本などを寄贈する山陽女子高生徒

2015年8月26日 山陽新聞朝刊 30ページ （C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。